



みんなが「藤」を愛するまち。 **5**

今年はこんなに咲きました!!

家族で育てる大切な記念樹
いつか藤棚の下で暮らしたい!

満開のフジの鉢植えを手に持つのは、現在、さいたま市に住む竹田利幸さんと妻・優子さん、長女・希ちゃんの3人家族、そして「藤の窓口」(左下参照)を担当する春日部市道路管理課の職員だ。

市では、緑の普及啓発の一環として、結婚・出生・新築のお祝いに記念樹をプレゼントしている。この鉢植えは、竹田さんの結婚や希ちゃんの出生などの記念樹として贈られたものだ。

「いただいた3枚の引換券を、ずっと保管していたんですが、家を新築して、2年前に春日部を転出するときに引き換えてもらったんです。春日部に住んでいた時、住まいの隣にあった豊春地区公民館には大きな藤棚があって、美しい花や、甘い香りを毎年楽しみにしていました。数種類の記念樹からフジの苗木を選んだのはそんな理由からでした」と、優子さんは笑顔で語る。

竹田さん家族は苗木にそれぞれ名前をつけ、市のホームページの情報を参考に、大切に育ててきた。その甲斐あって、2年目の4月には65個の花芽がついた。しかし……。

「水をあげても、土にしみ込んでいなくなってしまうんです。あわ

てて『藤の窓口』に問い合わせました。そうしたら、すぐに担当の方が、ていねいに対処法を教えてくださいました」

相談を受けた担当者は「問い合わせの内容を見て、根詰まりが原因だと思い、割り箸で土をほぐし、通気を良くするように伝えました」。

優子さんが、アドバイスどおり対処すると、徐々に水がしみ込むようになり、葉も青々と茂り始めた。その後は順調に生育し、今年は写真のように見事な花を咲かせている。

夫婦には、ささやかな夢がある。「もっと大きく育ったら、藤棚を作ってフジの下で暮らしたい。そして、いつか希に、このフジを受け継いでもらいたいですね」

フジの「困った!」を解決する

藤の窓口

これからフジを育てたい人や興味のある人、育てているフジで困っていることがある人など、フジに関するものならどんなことでも気軽にご相談ください。ふじ通りの藤棚を約40年間守り育ててきた、担当職員が真摯に対応します。

電話:048-736-1111/FAX:048-736-1974
受付時間:午前8時30分~午後5時15分(土日祝日を除く)/
市ホームページ、FAXは24時間受付